

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Le-Lian aqua		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 10日		～ 令和8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	①それぞれに異なる「安心感」「楽しさ」「興味や好奇心」を探求します。 ②「対話」を大切に、共に望む社会を創造します。 ③自分の事を自分で決め、行動し、表現する「主体性」を育みます。	・子どもたちそれぞれに違う安心感を探求するために、しっかりと対話を行います。 ・適応力ではなく、自己理解を深めるために、お子様を正しく理解することに努め、感情の言語化や、ニーズの実現、自己決定をサポートします。	・高学年層の生徒さん向けに、様々な体験を活動の中に取り入れ、就労に向けての見通しになるような、機会を提供する。 ・人員を充実させて、個別での対話時間が計画的に実現できるようにする。
2	日替わり、月替わりの療育活動は、ビジョントレーニング感覚統合の要素を遊びの中に取り入れ、楽しみながら機能を高めていきます。	・様々な体験が出来る楽しい活動を通して、身体機能に刺激を加え、思考と共に身体を動かし、感覚統合を促す活動を多く取り入れています。 ・似た活動の中にも取組み方に変化を加えて、思考力を高め、経験値を高めている。	・遊びを通しながらも、ビジョントレーニングの効果を、身体機能の変化が見えたり、実感できるような記録、実施を行う。 ・継続して実施し変化を把握する。 ・さらなる負荷、アクションに変化を起こすことができるように活動のバリエーションを増やしていく。
3	学年、障がい種別に関わらず、遊びのルールを子どもたちと一緒に決定したり、子どもたちのニーズを遊びに取り入れながら、自己理解、他者理解を深めて、社会性を育むことに力を入れています。	・ディスカッションやクラフトなどの、自己表現活動、自己内観時間をスタッフと一緒に実施し自己表現力を高めたり、様々な集団活動を通して、他児の事をしり、集団での活動ではお互いのことをしり、お互いに調整をしながら一緒に過ごすということができるようになっています。	・ディスカッションの機会を継続させ、事業所内にとどまらず、他機関や地域の子どもたちとの意見交換や、自己実現に向けた自己表現機会を計画する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スタッフの定着、子どもたちの安心を実現する、安定感あるスタッフ育成。	・経験者の採用 ・子どもたちの見通し安定のために経験のあるスタッフの採用、定着を目指したい。	・求人掲載継続して実施 ・専門家への研修依頼 ・ケア会事例検討の実施（スタッフの不安解消）
2	・計画的なモニタリング、計画作成、提示ができていない。	・ご家族との日常的なコミュニケーション、計画と提案	・業務バランスを整える。 ・時間の確保 ・スケジュール管理
3	・安全対策についての、訓練実施、計画の周知ができていない。	・事業所内でとどまっていることが多い、システム、アプリを活用し、ご家族が見たいときに閲覧できるようにしたり、日々の活動行事予定に組み込んでいく	・HUGを活用して、掲示し閲覧できるようにする。 ・行事予定として計画し実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Le-Lian aqua

公表日 令和8年2月27日

利用児童数

29

回収数

9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	78%		11%	11%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	67%	11%	22%			
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	78%		11%	11%		
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	88%			11%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	88%			11%		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88%			11%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88%	11%				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	88%		11%			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	78%	11%		11%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	78%			22%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	88%			11%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	56%	22%	11%	11%		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	78%			22%		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	88%	11%			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	88%		11%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	67%	11%	22%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	56%		44%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88%	11%			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	78%		22%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Le-Lian aqua		公表日		令和8年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		二ズと、実際の配置が叶わない日があり、ご利用の制限が発生してしまっている。必要配置を整え、受け入れできるようにする。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	全体的な構造化は行っておらず、個別に必要な場合にのみ実施。	利用時の忘れ物、等発生しており、自己管理を促せるみんなにとって良いツール、視覚的なサポートで環境調整を行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1		毎日の清掃をおこなっているが、まだまだ不十分さを感じている。安全のための整備等基準を設けて丁寧に実施したい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	静養室、1F相談室、階段の踊り場など活用している。	スタッフの配置状況により、個別の部屋の使用について制限している場面がある。死角でのトラブル発生を防ぐため	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	勤務形態が様々で全員で顔を合わせることが難しいが、ラインやZOOMを活用し実施するようにしている。	タイミングが合わず、共有出来る人のみでの対応となってしまっている。システム、LINE活用する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			親御さんからのご意見を運営ミーティングに上げ、マニュアル化させて改善内容をスタッフ皆で遂行できるようにする。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			常勤職員の身にとどまらず、非常勤の職員も同様に発信共有ができるようにする。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	月に1度外部指導者との共有協議を行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		月に一度、心理士の先生をお招きし、法人内での研修を実施している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	1		計画的な実施、時間の確保が出来ておらず、十分な作成が出来ておりません。滞りなく、実施することに努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2		二ズと理想的な提供に至っていない。行事予定表での見える化に努めます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		常勤・非常勤含めて計画している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		毎月同じプログラムはなく、子どもたちの二ズも聞きながら、実施している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		必要に応じて、個別の時間確保に努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		LINE、ZOOMを活用し実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	朝礼・終礼を実施して、共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		活動提案時に分類分けしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		様々な選択肢、子どもたちのニーズを元に活動設定をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	勉強会や集いに積極的に参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		送迎時に行うようにしている。	学校さんによりオープンな場合、クローズな場合がある。どの学校とも同様に実施できるようにしたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		実施できていない。提供時間と重なり、機会を作ることが出来ない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		必要に応じ、子ども相談課さん、ふらっとさんなどに、相談、ご意見をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		児童クラブさんへの訪問事業所案内、学習機会に参加させてもらっている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			どのスタッフとも行えるように、経験値をあげ、スキルアップさせていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		実施機会を設けることが出来ない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		システムの導入、説明機会を設ける。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			ご意見を聴く機会を十分に確保できていない。配置を整え、実施機会を作る。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	1		配置を整え、実施機会を計画的に設ける。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	実施すると、参加者は少なめであるが、希望は多いため、継続してじっする。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			日頃から、ご意見うかがえるようにする。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		活動の様子など、UPする様にしている。	出来るときにとどまらず、安定したUPIに努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		・実施、計画を掲示板で提示し、システムで見えるかさせてから、実施を行うようにする。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		スタッフで情報共有を行い、スタッフに兼務にも対応できるように、グループ内全体で対応方法をシェアするようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		医師の指示書確認等行っていない。提出印刷を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			システムの掲示板で確認できるようにする。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		年に3回虐待に関するアンケートを行い、自己評価し、法人内把握改善のための案共有、研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束同意書を作成している。該当対象になる方向けには書面で取り交わしを行う。	マニュアルを作成しているが、保護者様が閲覧できるようにはなっていないため、システム内で掲示する。	